

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 3 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/3 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	26.1	4.0 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	34.5	6.25 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	32.6	0.22 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 Vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/3 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	27.0
2号機	循環冷却システム	運転中	25.1
3号機	循環冷却システム	運転中	25.2
4号機	循環冷却システム	運転中	23.7

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	6/29 9:52 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

・H26/7/3 10:03 ~ 10:35 4号機使用済燃料プールから共用プールへの燃料移動作業において発生する構内用輸送容器(キャスク)内包水(4号機使用済燃料プール水)および構内用輸送容器(キャスク)内洗浄水については、沈降分離処理し、共用プール低電導度廃液受タンクで貯水しているが、当該タンクが満水レベルに達したことから、同タンクから集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)への移送を実施。なお、本移送は今後も適宜実施していく。

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/3 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

- ・H26/1/29 ~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
  - 4/2 ~ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
  - 4/28 ~ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- ・H26/3/14 13:35 ~ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2 ~ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/7/2 10:09 ~ 17:42 1 ~ 4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日6/21]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、海洋への排水を実施。排水終了後、漏えい等の異常がないことを確認。なお、排水量は1,858m<sup>3</sup>。
- ・H26/7/3 6:00頃 発電所構内にある協力企業厚生棟前の路上において、協力企業が使用している車両から油(エンジンオイル)が漏れていることを協力企業作業員が発見。漏れ出した油は、地面に約1m×約8mの範囲で溜まっていることから、吸着剤および中和剤により処置を実施。なお、6:10に双葉消防本部へ連絡。その後、6:31に油の漏えいが停止していることを確認。漏れた油は、吸着剤および中和剤等の散布にて処置を完了。7:30に双葉消防本部より「危険物の漏えいには該当しない」との判断を受けた。
- ・H26/7/3 11:10頃 共用プール建屋地下1階において、配管貫通口より水が流入(連続滴下1箇所および鉛筆芯1本程度2箇所の合計3箇所)していることを当社社員が発見。当該エリアの配管貫通口から流入した水は、床面に約1m×約1.5m×約1mmの範囲に広がっており、床面に設置されている排水口(床ファンネル)に連続で排水されているため、建屋外への流出はない。

### [地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

### [H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### [タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### [地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上